

令和6年度 2年A組 学級経営方針

担任 生井 晋太郎

1 生徒数 男子 19名 女子 15名 計34名

2 学級目標 「素真意留」

- ・「素」直な心をもち、他者と関係性を構築する。
- ・「真」面目に学習に臨み、自分の課題に向き合う。
- ・「意」識を高くもち、良いところを伸ばし、課題は改善する。
- ・「留」める（上に書いてあることを意識、継続し学校生活を送る）。

3 生徒の様子

生徒一人一人が安心して生活を送ることのできる空気感が教室にうまれている。見通しをもって行動する生徒も多く、給食や帰りの会の準備などは素早く行えるが、お互いを注意し合う声かけなどはまだ少ない。小集団活動では活発に言語活動を行っている班とそうでない班に分かれておりお互いの遠慮がまだ見られるが、他者と関わろうとする前向きな姿勢をもっている生徒が多くみられる。また、授業中に自分自身のことを優先してしまい注意を受ける生徒、自己管理ができず忘れ物が多い生徒がいる。

4 学級経営の重点事項

- (1) 集団にいる自覚をもたせ自分のため、クラスメイトのために規律を守らせる。
- (2) 思いやりの心を育み仲間や命、環境を大切にすることを育てる。
- (3) 授業を大切にして、粘り強く課題に取り組む気持ちを養う。
- (4) 「凡事徹底」を意識し、先輩としての自覚と責任感を育む。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 教員の声かけを待って行動するのではなく、何のために規律が必要なのか、規律を守るためには何が必要なのかを、生徒自身に考える場を与え、自分たちで集団の課題をみつけ意識し、行動させる。また日々の生活や授業内での生徒の姿勢を見取り、定期的に一人一人の成長や課題点について声かけをすることで、学級への所属意識や向上心をもたせる。
- (2) 他者とコミュニケーションをとる際の言葉遣いはもちろん、相手の話を心で「聴く」指導を継続して行うあいさつや「ありがとう」、「ごめんなさい」という当たり前の言葉を大切にさせ、他者との良い関係を構築する姿勢を養う。また日直が、授業や生活の中で思いやりある行動や発言をした生徒を取り上げ、「一日の振り返り」を行う取り組みを実施する。
- (3) 学習は他者と比較するものではなく、過去の自分と向き合い少しずつでも前進していくことが重要だと声かけしていく。定期テスト前に実施する「学習計画表」では、「目標」とそれを達成するための「具体的な手立て」を考えさせ、スモールステップを達成する経験を通して学数意欲を向上させる。
- (4) 日々の生活、授業や行事準備などで、後輩に「背中」をみせることを意識させる声かけを行うことで、思いやりの心、整理整頓、授業態度、提出物管理など自身の生活に対する意識を向上させる。

令和6年度 2年B組 学級経営方針

担任 辻 香保里

1 生徒数 男子 20名 女子 15名 計35名

2 学級目標 カメレオン

自分らしい個性を大切にしながら、集団としての適応力もつけていこう。
それぞれが色とりどりの輝きをもち、それをお互いに認め合える仲間であらう。

3 生徒の様子

控えめで落ち着いた女子と快活でにぎやかな男子。男女仲は良く、お互いを認め合おうという雰囲気がある。
基本的な生活習慣がおおむね身に付いている生徒が多い。時間に対しても意識が高く、落ち着いた学校生活を送れている。もっているエネルギーが良い方向に向いている生徒が多い。授業に対しても、真面目に落ち着いて取り組む生徒が多いが、積極的に発言する生徒は一部で限られているため、それぞれが主体的に取り組むことが課題である。

4 学級経営の重点事項

- (1) 授業を大切に取り組みせるとともに、学習習慣を身に付ける。
- (2) 集団の中の一員であることを自覚させ、委員会や係りの仕事などきちんとその責任を果たす。
- (3) 感謝の気持ち、思いやりの心をもってクラスの仲間と過ごす。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 毎日の終学活で日直から学習状況を報告させ、クラス全体で授業の取り組みについて振り返りをする。また、学習計画を立てさせて学習習慣を身に付けさせる。
- (2) 集団の中の一員であることを自覚させ、委員や係の仕事などきちんとその責任を果たせるようにさせる。
- (3) 道徳の授業を大切にして思いやりの心を育むとともに、日常的に振り返りを行い、それぞれの良さを見つげられるようにする。

令和6年度 2年C組 学級経営方針

担任 安部 純平

1 生徒数 男子20名 女子14名 計34名

2 学級目標 『向』

3 生徒の様子

生徒は、朝の5分前行動を心がけ朝読書を静かに始めたり、チャイム前着席は自分たちで声掛けをしたりと、時間を意識して、規律ある集団生活を送ろうとする様子が見られる。提出物の提出状況は、1年次に課題があった特定の数人が遅いが、全体としては期限内に提出している生徒がほとんどである。不登校生徒に関しては、数時間でも登校しようとしたり、遅刻しながらも登校したりと前向きな様子が見受けられる。

委員会・係決めでは、委員会への立候補が多く、決意表明や意気込みなどをクラス全体に対して一生懸命に伝え、聞き手も姿勢を正し、真剣な雰囲気で行うことができた。しかし、委員会の数枠に立候補がおらず、時間を要した場面があった。リーダーとして積極的な生徒がいる一方、「誰かがやってくれるだろう」、「自分は当番ではないから関係ない」と消極的な生徒も一定数いる。給食準備や日々の学活などで、委員が呼びかけ、それに応えるといった場面を意図的に作ることで、協力して物事に取り組む経験を積ませ、フォロワーシップとリーダーシップを育む学級経営をする。

4 学級経営の重点事項

- (1) 生徒一人一人が役割をもち、責任をもって諸活動に取り組むことで、自主自律の精神を育む。
- (2) 様々な活動に目標をもって取り組み、その達成のために工夫や振り返り、改善を通して、創造性を育む。
- (3) 挨拶を大切にし、物事に協力して取り組むことで、豊かな心を育む。
- (4) 授業や部活動などに一生懸命に取り組む、日頃から生活リズムを整え、健やかな身体を育む。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 授業や委員会活動、部活動などへの生徒の取り組みを評価し、褒めたり、励ましたりすることで生徒の自己肯定感や主体性を高める。また、学級委員にその日の目標や振り返りを話させたり、委員会生徒に呼びかけや注意をさせたりすることに加え、学校生活を送るうえで気になった点や改善点を自ら発信していきけるよう個別に声掛けをし、主体的な態度を身に付けさせる。
- (2) 授業や部活動、学校行事などに取り組む際は、生徒一人一人に目標を明確にさせ、その実現に向けて工夫させたり、先輩としての自覚をもたせたりすることで、創造性をもって物事に取り組ませる。
- (3) 挨拶をはじめとするコミュニケーションや協力して物事に取り組むことを通して、生徒自身が自ら良好な人間関係を築く。互いの良さや違いを認め合って全員に居場所のある学級にしていけるように、教員が生徒の表情や人間関係をよく観察し、一人一人を大切にする。そして、生徒の言語環境を整え、暴言やいじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導にあたる。
- (4) 見通しをもって勉強や部活動に励ませ、睡眠の大切さやスマートフォンの適切な利用の仕方を適宜指導するなどして、基本的な生活習慣をつけさせる。

令和6年度 2年D組 学級経営方針

担任 北田 美紀

1 生徒数 男子 19名 女子 15名 計34名

2 学級目標 「Dデエイ (デコレーション エブリデイ インフィニティスマイル)」

他者や自分の良さを理解し、自分らしさを発揮することのできるクラスを目指す。

3 生徒の様子

学校やクラスの決まりを守ろうという意識があり、学校生活を協力して取り組んでいる。また、学級の仲間のことを理解しようとする姿があり、仲の良いクラスにしていきたいという意欲がある。自分の考えと相手の考えとの違いに戸惑うことも今は多い。また、男女関係なく話しかけるということがまだできない生徒も多い。

4 学級経営の重点事項

- (1) 他者や自分のよさを理解し、違いを認め合い、感謝の気持ちを伝え合う
- (2) 決まりや時間を守り、協力してよりよい学級集団をつくっていく
- (3) 係活動や学校行事での自分の役割に自分で価値を見出し、自覚と責任をもって取り組む

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えや意見を尊重できる場を与えるとともに、他者との違いを受け入れることのできる心を育てる。また、日直の振り返りや行事の振り返り、学期末の振り返りなどで一人一人の良さを見付けられる取り組みを行う。
- (2) 委員会や班長などを中心に、学校生活の決まりやマナーなどについて自分たちで課題を見付けて解決策を考えることで、生徒自身に問題意識をもたせる。生徒が主体的に活動できるように事前の打ち合わせ等を綿密に行い、リーダーやリーダーの補佐となるフォロワーを育てる。また、学級全体の合意形成の場を設け、学級集団に所属感をもたせる。
- (3) 一人一役を与え、係活動に責任をもって取り組めるように適切な声かけを行い、適宜評価していく。また、学校行事だけでなく、日頃の学校生活などでも全員が積極的に参加できるよう指導し、みんなでひとつのことを成し遂げる達成感を通して協力することの良さを実感させる。

令和6年度 2年E組 学級経営方針

担任 三田 勇輝

1 生徒数 男子20名 女子15名 計35名

2 学級目標 三田が夢見た最高のE組！！

3 生徒の様子

- ・真面目に物事に積極的に取り組み、他者を思いやって行動することができる生徒が多い。
- ・学級委員と中心として、班活動や当番活動に積極的に責任感をもって取り組む生徒が多い。

4 学級経営の重点事項

「人、もの、時間、自分」を大切にする生徒の育成

- (1) 相手の立場や心情を慮り、他者に手を差し伸べられる生徒を育てる。
- (2) 「忘れないゾウ」を活用し、生徒との信頼関係や相互理解を日常から深める。
- (3) 日常的な教室整美を心掛け、心地よい学習環境をつくる。
- (4) 自身の思いや意見を大切にし、それを表現することを積極的にほめることで生徒の自己肯定感を高める。
- (5) 各行事を通して、自主自律の意識を学級という集団全体で高められるよう指導する。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 係活動では、全員が必ずひとつの係に所属し、責任をもって活動をすることができるよう指導する。
- (2) 各生徒の個性を尊重し、その個性を伸ばせるような声掛けを日常的に行う。
- (3) 朝や帰りの学活で「思いやり」の行動を見せられた場面を紹介し、生徒の自己肯定感を伸ばす。
- (4) 教室の掲示物を系統的に整理し、整った学習環境をつくる。
- (5) 各行事の活動を生徒が自主的、主体的に実施できるように支援する。特に実行委員の活動では、次年度を見据えてリーダーシップをとれる生徒の育成とフォロワーシップの重要性を生徒が考えられるように計画的に活動させる。
- (6) 道徳の授業では、導入を特に工夫し、生徒が主発問を自分のことととらえて考えられるような授業展開をする。